

オーストラリア・リアルアセット・ファンド

<3305>

追加型投信／海外／資産複合
日経新聞掲載名：豪リアルアセ

第9期 2021年2月3日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末	基準価額	12,553円
	純資産総額	15百万円
第9期	騰落率	18.9%
	分配金	180円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0330520210203◇

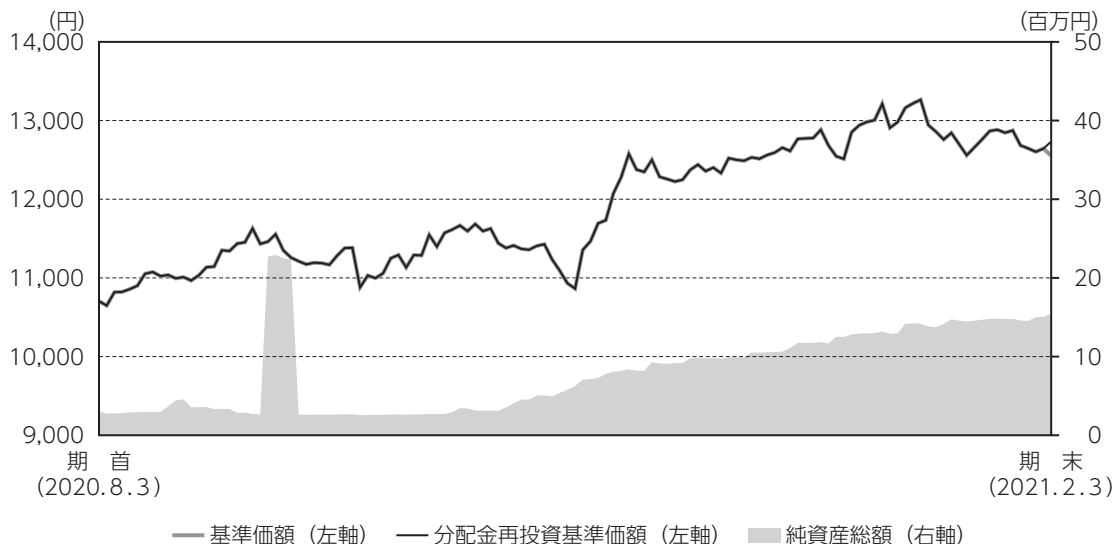
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,705円

期末：12,553円（分配金180円）

騰落率：18.9%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。オーストラリアでの新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きつつある中、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感や中央銀行による金融緩和政策への期待感などから、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。また、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから投資家のリスク選好姿勢が強まり、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.8.4~2021.2.3)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	98円	0.823%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,916円です。
(投 信 会 社)	(48)	(0.402)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.402)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.019)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.038	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.020)	
(投資信託証券)	(2)	(0.018)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	12	0.097	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(9)	(0.075)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	114	0.959	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

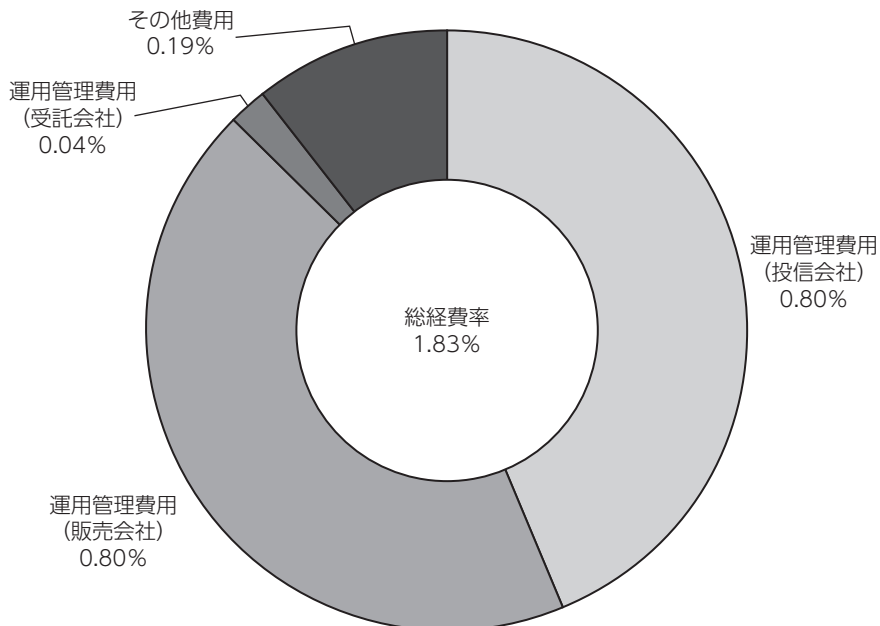
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。

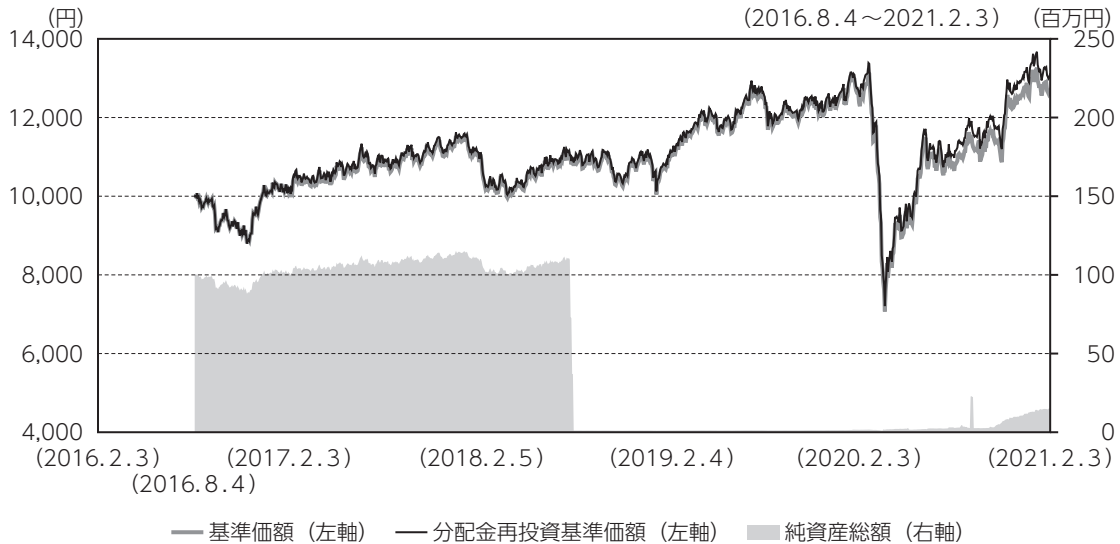


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



	2016年8月4日 設定	2017年2月3日 決算日	2018年2月5日 決算日	2019年2月4日 決算日	2020年2月3日 決算日	2021年2月3日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,081	10,844	11,039	12,372	12,553
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	80	0	0	140	300
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.6	7.6	1.8	13.3	4.1
S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	18.3	14.0	△9.1	14.6	8.9
S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	0.4	8.4	5.7	11.5	△3.2
純資産総額 (百万円)	100	100	108	1	1	15

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) およびS & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注5) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注6) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2020.8.4～2021.2.3)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は上昇しました。

当作成期首から2020年10月前半にかけてのオーストラリア・リアルアセット市況は、オーストラリアでの新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた状態だったことやオーストラリアの長期金利が下落傾向となったこと、また財政刺激策への期待感やRBA（オーストラリア準備銀行）による追加緩和観測などから上昇しました。10月後半は、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大および広範な行動制限措置の再施行などから世界経済停滞の懸念が広がり、下落しました。その後は当作成期末にかけて、米国の大統領選挙が大きな波乱なく終了したことや、米国大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果を得られたと発表したことなどを好感して、リートやインフラ関連銘柄は上昇しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、当作成期首から2020年8月末にかけては、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから、オーストラリア・ドルへの選好が強まり、上昇しました。9月から10月にかけては、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や米国大統領選挙を前にしたリスク調整の動きなどから、対円で下落（円高）しました。その後は当作成期末にかけて、新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が発表されて投資家のリスク選好姿勢が強まったことや、中国の堅調な需要および供給への懸念などから鉄鉱石価格が上昇したことを受けて、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2020.8.4～2021.2.3)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

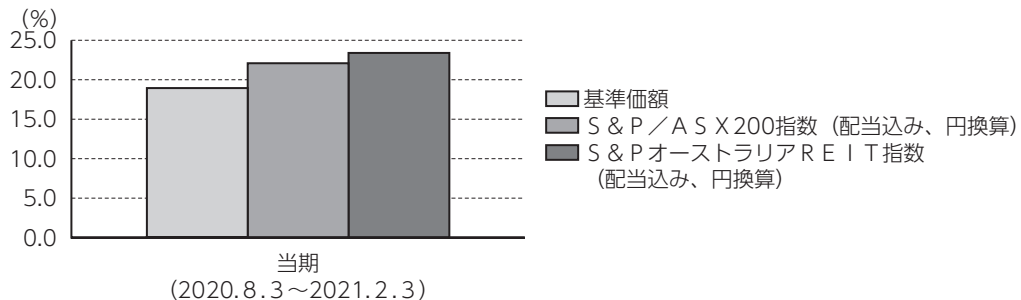
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年8月4日 ～2021年2月3日	
当期分配金（税込み） (円)		180
対基準価額比率 (%)		1.41
当期の収益 (円)		180
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		3,187

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	114.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	684.59
(c) 収益調整金		2,560.96
(d) 分配準備積立金		7.96
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		3,367.66
(f) 分配金		180.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		3,187.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。



お知らせ

■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2021年8月3日から2026年8月3日に変更しました。

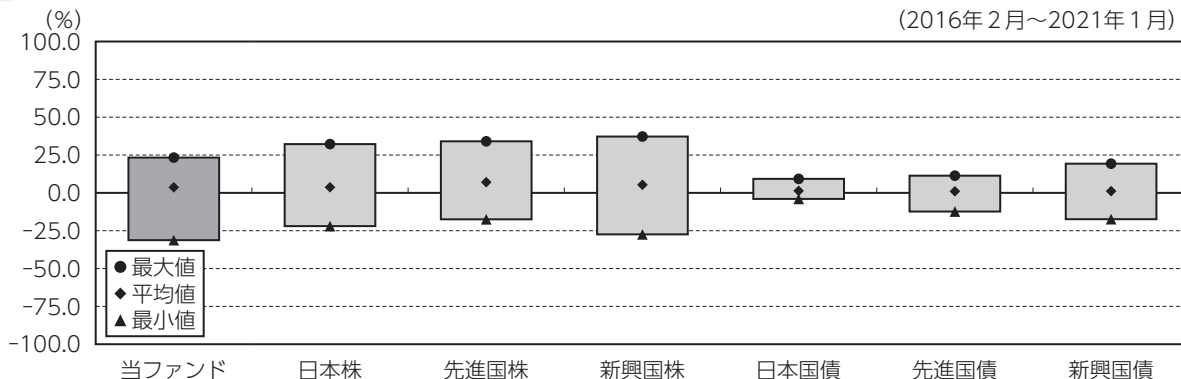


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	10年間（2016年8月4日～2026年8月3日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。</p> <p>イ. リート ロ. 上場インフラファンド ハ. リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目します。</p> <p>③運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、リアルアセット関連有価証券の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>④リアルアセット関連有価証券の組入比率の合計は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.3	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
平均値	3.7	3.7	7.1	5.3	1.4	1.0	1.1
最小値	△31.2	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバースファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバースファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



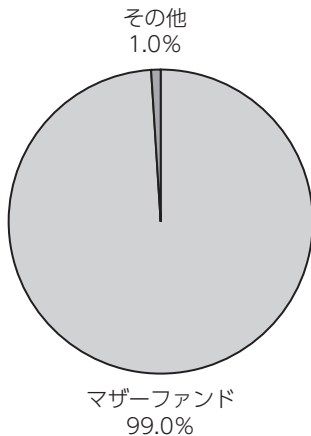
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

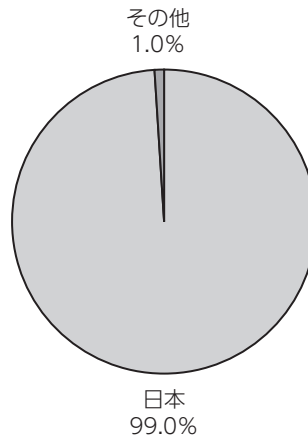
組入ファンド等

	比率
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	99.0%
その他	1.0

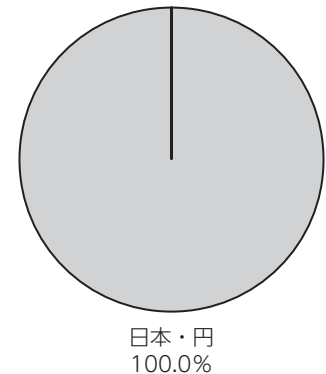
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2021年2月3日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2021年2月3日
純資産総額	15,439,349円
受益権総口数	12,299,815口
1万口当り基準価額	12,553円

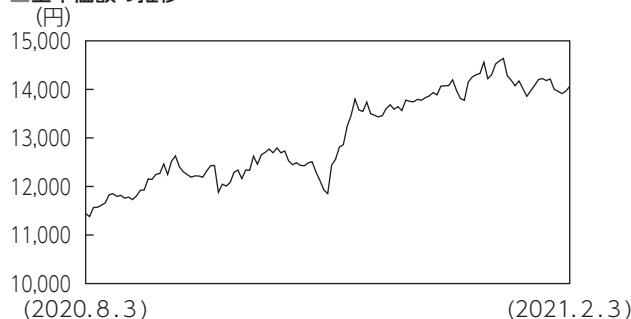
* 当期中における追加設定元本額は29,523,039円、同解約元本額は20,067,005円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（作成対象期間 2020年8月4日～2021年2月3日）

■基準価額の推移



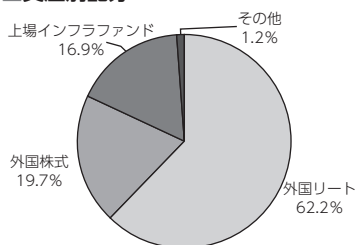
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	4円 (2) (2)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	11 (2) (9)
合計	15

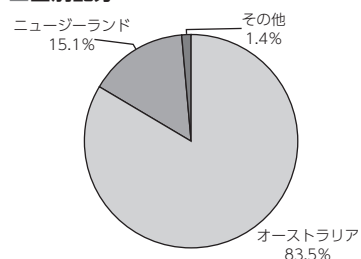
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
CHARTER HALL GROUP	オーストラリア・ドル	8.5%
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	8.2%
TRANSURBAN GROUP	オーストラリア・ドル	7.9%
APA GROUP	オーストラリア・ドル	5.3%
CONTACT ENERGY LTD	ニュージーランド・ドル	5.1%
STOCKLAND	オーストラリア・ドル	5.0%
ARENA REIT	オーストラリア・ドル	4.9%
MIRVAC GROUP	オーストラリア・ドル	4.5%
DEXUS	オーストラリア・ドル	4.5%
GENESIS ENERGY LTD	ニュージーランド・ドル	3.9%
組入銘柄数	40銘柄	

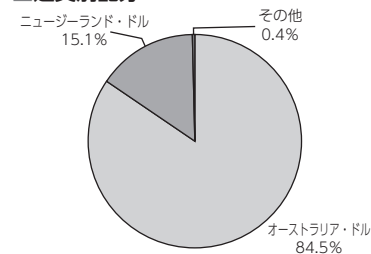
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。